

茨城県桜川市におけるタガメ (カメムシ目: コオイムシ科) の 採集記録

早瀬長利*・古橋拓実**・古橋祐一**

(2012年11月29日受理)

Record of a Giant Water Bug, *Lethocerus deyrolli* (Hemiptera: Belostomatidae), in Sakuragawa City, Ibaraki Prefecture

Nagatoshi HAYASE*, Takumi FURUHASHI** and Yuuichi FURUHASHI**

(Accepted November 29, 2012)

Key words: Hemiptera, *Lethocerus deyrolli*, Ibaraki Prefecture, Sakuragawa City, endangered species.

タガメ *Lethocerus deyrolli* Vuillefroy は 2000 年に環境省から公表されたレッドリスト (環境省, 2000) で絶滅危惧Ⅱ類にあげられ, さらに同年に茨城県生活環境部より発行された「茨城における絶滅のおそれのある野生生物<動物編>」(茨城県生活環境部環境政策課, 2000) では, 希少種に指定されているカメムシ目 (Hemiptera) の水生昆虫である。本種は近年, 水辺環境の悪化などに伴い, 生息数がかなり減少している。茨城県でも記録は少なく (久松・榎本, 1999; 久松・早瀬, 2004), それらの記録にある生息地でも再確認することは難しくなっている。今回, 新たに桜川市でタガメの生息地を確認できたので報告する。

2012年9月1日に桜川市大曾根のため池, 通称“塩気沼”の下流にある休耕田で, 桜川市大曾根の古橋祐一と拓実の親子が, 体長 63 mm のタガメのメス成虫 1 個体を採集した (図 1)。採集地は雨引山楽法寺の住職川田興聖氏とボランティア組織の雨引三千桜の会が中心となり, 数年前から水生生物が観察できるように整備した場所である (図 2)。この場所では同じ日に, タイコウチ (*Laccotrephes japonensis*), ミズカマキリ (*Ranatra chinensis*), マツモムシ (*Notonecta triguttata*), シマゲンゴロウ (*Hydaticus grammicus*), さらに茨城県版

レッドデータブックで希少種に指定されているガムシ (*Hydrophilus acuminatus*) が採集された (茨城県生活環境部環境政策課, 2000)。

今回採集されたタガメの標本はミュージアムパーク茨城県自然博物館で保管する予定である。また, 筆者らは今後も多くの水生生物の良好な生息環境として, この水域一帯を整備し, 維持管理していく予定である。



図 1. 桜川市大曾根で採集されたタガメのメス。
Fig. 1. A female of *Lethocerus deyrolli* collected at Oozone, Sakuragawa City.

* 自宅 〒 308-0007 茨城県筑西市折本 328-1 (328-1 Orimoto, Chikusei, Ibaraki 308-0007, Japan).

** 自宅 〒 309-1232 茨城県桜川市大曾根 892-2 (892-2 Oozone, Sakuragawa, Ibaraki 309-1232, Japan).



図 2. 桜川市大曾根のタガメ生息地.

Fig. 2. Habitat of *Lethocerus deyrollei* at Oozone, Sakuragawa City.

引用文献

- 久松正樹・榎本友好. 1999. 茨城県におけるタガメ (*Lethocerus deyrollei*) の分布. 茨城県自然博物館研究報告, (2): 39-42.
- 久松正樹・早瀬長利. 2004. 下館市におけるタガメ (カメムシ目: コオイムシ科) の採集記録. 茨城県自然博物館研究報告, (7): 97.
- 茨城県生活環境部環境政策課. 2000. 茨城における絶滅のおそれのある野生生物<動物編>茨城県版-レッドデータブック. 195 pp., 茨城県生活環境部環境政策課.
- 環境省. 2000. <http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb-f.html>

(キーワード): カメムシ目, タガメ, 茨城県, 桜川市, 絶滅危惧種.